

# 授業科目 学習・認知心理学

【担当教員名】 長塚 康弘		対象学年	2	対象学科	視機	
		開講時期	前期	必修選択	必修	
		単位数	2	時間数	30	
【ディプロマポリシーとの関連性】						
知識・理解		思考・判断		関心・意欲		
◎		○		○		
【概要・一般目標：GIO】 人間行動の基礎となる学習および認知に関する最近の心理学的知識・情報を習得し、理解の深化をはかる。その際、心理学的な考え方の特質と併せて臨床および応用場面における学習・認知の意義についても学ぶ。学習及び認知が日常生活および職業労働の場における種々の問題にどのように現れ、さらに問題解決に役立っているかを理解する。						
【学習目標・行動目標：SBO】 学習心理学および認知心理学領域における重要な用語・概念を理解し習得する。その上で、それらが日常生活および職業労働の場における様々な問題にどのように関わり、さらに問題解決に役立っているかを検討し、理解を深める。						
回数	授業計画・学習の主題				SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	学習心理学－学習の心理学的定義、学習の生起（文字、言語、感覚－運動、技能、社会的交流）、正・負の学習、健康増進、生活習慣病、犯罪・非行の手口、フォーム形成					講義
2	学習心理学－連合説（古典的条件づけ、オペラント条件づけ、試行錯誤理論）					講義
3	学習心理学－認知説（洞察、推論、仮説）、結果の知識の効果、動機づけの方法と効果					講義
4	学習心理学－学習効果の転移、鏡映描写実験					講義
5	学習心理学－記憶とは何か、記憶の諸相、研究法、記憶と言語の神経生理学					講義
6	学習心理学－忘却の心裡（記憶の量的・質的变化と変容）					講義
7	学習心理学－問題解決、思考・推論、創造性の心裡、生産的思考の心裡、知能の心裡					講義
8	認知心理学－人間行動における認知の重要性、認知の諸相					講義
9	認知心理学－感覚のメカニズム、感覚のモダリティと相互作用、精神物理学					講義
10	認知心理学－知覚の成り立ち（パターン認識と環境の意味づけ）					講義
11	認知心理学－知覚の選択性と諸特性					講義
12	認知心理学－空間知覚と運動知覚					講義
13	認知心理学－知覚に及ぼす経験効果、パーソナリティの影響（投影法）					講義
14	認知心理学－感覚遮断（sensory deprivation）の研究					講義
15	認知心理学－環境刺激と意識の変化					講義
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>	
教科書 (必ず購入する書籍)		学習・認知論基礎	長塚康弘		1,000円	
参考書		交通心理学が教える事故を起こさない20の方法	長塚康弘著	新潟日報事業社	630円	
その他の資料		青木民雄、長塚康弘ほか編著「心理学要論」（福村出版）のうち、学習心理学および感覚・知覚心理学の章をまとめて冊子にしたものを使用する。 適宜参考資料をプリントして配布する。				
【評価方法】 授業への参加状況、平素の学習状況（ノートの提出を求め、整理状況などの記述内容を見る）および定期試験成績を総合して評価する。			【履修上の留意点】 1 授業中ならびに時間外の積極的質問を期待し、歓迎する。 2 講義中の私語を厳に慎むこと。学友に迷惑を及ぼすと判断される過度の不謹慎者については、聴講許可を取り消す場合がある。			